

# V2H-充放電器の停電時操作方法 [リーフ]

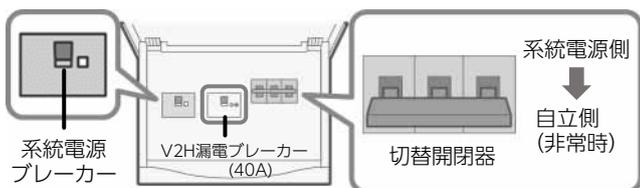
- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください。（デモ用に模擬停電させる場合のみ、系統電源ブレーカーをオフしてください）
  - ・V2H本体の自立起動のため、12V電源ケーブルを用い車両と接続してください。
- ※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

## 給電開始の手順

CHECK

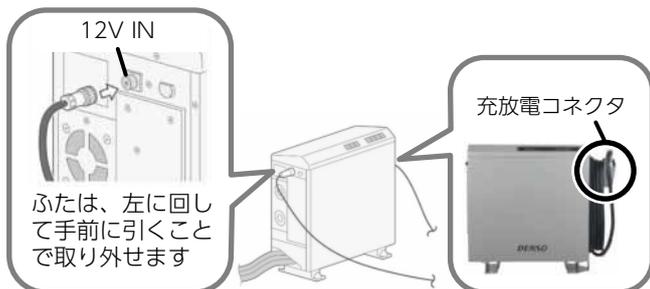
- ・車両の「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・電源OFF状態（メータが消灯している）であること

- 1 切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。



※本体の操作パネルに E29/E74/E100/E123 が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません。

- 2 V2H本体の「12V IN」に「12V電源ケーブル」を接続し、ホルダから「充放電コネクタ」を取り出す。



- 3 充電ポートリッドオープンスイッチ<sup>Ⓐ</sup>を押して充電ポートリッド<sup>Ⓑ</sup>を開け、「充放電コネクタ」を「急速充電インレット」に差し込む。

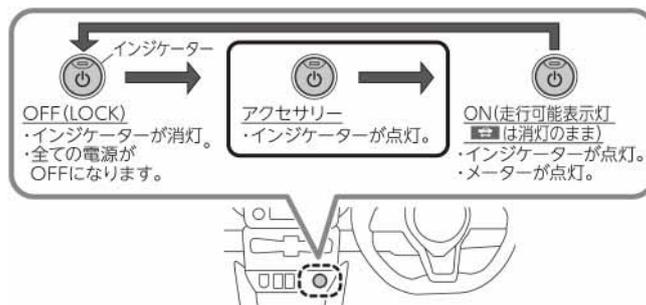


- 4 「インストルメントパネル」左下の「電源ソケット」のふたを開け、「12V電源ケーブル」を接続する。

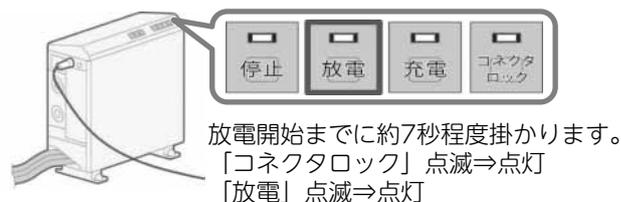


※手順5は右上へ

- 5 「ブレーキを踏まず」に、「パワースイッチ」を1回押し、アクセサリモードにする。



- 6 V2H本体の「放電ボタン」を押す。



- 7 準備が完了し**給電可能**となる。使用する電気設備の電源を入れてください。

- 8 「ブレーキを踏まず」に「パワースイッチ」を2回押し、アクセサリモードをOFFにする。

- 9 12V電源ケーブルを車両、V2H本体から外す。

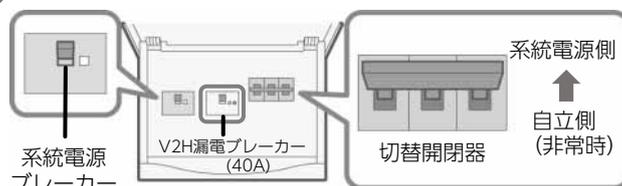
## 停電終了（復電）時の手順

- 1 V2H本体の「停止ボタン」を押す。



※「復電時放電継続機能」設定をOFFにしている場合、復電後に運転が自動停止するため、この操作は不要です。

- 2 切替盤内の切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。



※模擬停電終了の際は系統電源ブレーカーを「ON」にする。

# 給電開始後、過負荷により停止した場合の復旧手順

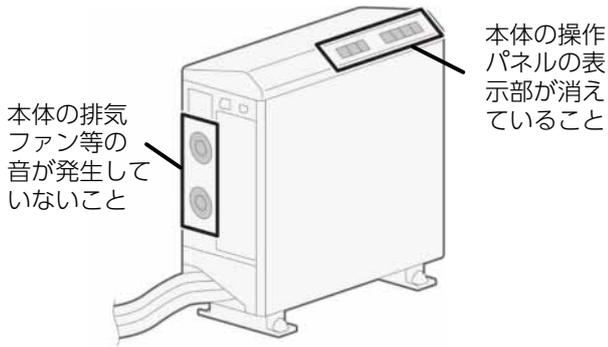
V2H-充電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、再度給電するために下記手順にて復旧準備を実施してください。

- 1** 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチはOFFにする。

CHECK

## V2H本体側

- ・本体の操作パネルの表示部が消えていること
- ・本体から排気ファン等の音が発生していないこと



- 2** 急速充電インレットの「充放電コネクタ」を取り外し、充電ポートリッド⑥を閉める。

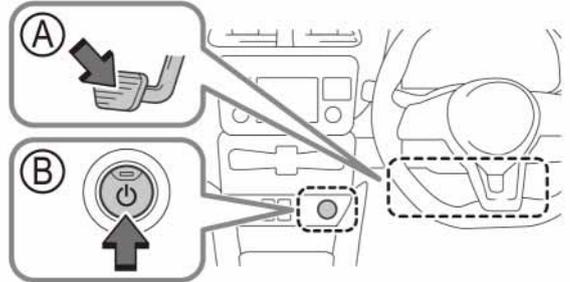
CHECK

## 車両側

- ・「パーキングブレーキ」が確実にかかっていること

※手順3は右上へ

- 3** 「ブレーキペダルを踏みながら」①、「パワースイッチ」②を1回押して走行モードONにする。



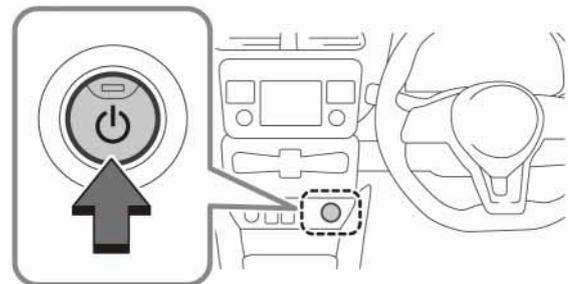
CHECK

## 車両側

- ・メーター内の走行可能表示灯が点灯し、走行できる状態になります。



- 4** 「ブレーキペダルを踏みながら」、「パワースイッチ」を1回押して走行モードOFFにする。



CHECK

## 車両側

- ・メーター内の走行可能表示灯が消灯していることを確認して、ブレーキペダルから足を離します。



- 5** 復旧準備が完了となる。  
「I.給電開始の手順」を改めて行ってください。